

## 製造業

- ◇パン…5月24日～26日に県庁2階でいばらきスイートフェアに出店しアピールした。
- ◇酒…4月の課税移出数量は前年比94.9%と前年を下回り、今年に入ってからの動きは全体的に低調。焼酎乙類は124.5%と上向きに転じている。政府は輸出への取組みには積極性があり「日本産酒類の輸出促進連絡会議」が新設され3月12日の初会合を契機に、5月31日には関東甲信越の連絡会議を開催、中央・地方との連携を図っている。4月、5月は常陸国風土記記念イベント、笠間陶炎祭での試飲即売会を実施した。
- ◇納豆…業界全体の景況は好転しているが、恩恵を受けているのは一部大手メーカーのみで中小メーカーは衰退傾向気味である。流通業界の再編が進み、中小メーカーの売場が限られつつある。
- ◇菓子…広島市で全国菓子大博覧会が、県庁でいばらきスイートフェアが開催され、多くの組合員が参加し好評を博した。店頭では和菓子類の売れ行きが良く、景況は上向き気味であった。
- ◇繊維製品(袋物)…仕事量は確保できているが、一部高級品を扱っている会社の受注減が気になる。
- ◇繊維製品(縫製)…3、4月の出遅れ分の受注に期待したが、前年並みに終わり、収益面では向上せず。遅れている東北の復興需要に期待している。
- ◇木材…住宅需要は大手ハウスメーカーが好調であるが、5月に入り一服感が見られる。地場工務店の仕事量は徐々に動きが見られるが受注は現状維持が精一杯。円安で外材製品の強基調が続いており、各問屋の在庫量は少なめ。プレカット工場はある程度価格転嫁は進んだものの、値上がりのスピードが速く追いついていかない。国産材原木は値下げに転じている。
- ◇プレカット…今月は目標が達成でき見積等も多かった。資材の値上げが危惧される。
- ◇段ボール…連休明けから仕事量が若干落ち、前年並みのところが多かった。色々な物が値上がりしているので今後の収益に影響が出そうである。
- ◇軽印刷…景況は大きく変わっていないが、全体的に低調のままである。
- ◇焼物…今年の「笠間の陶炎祭」は天候に恵まれたこともあり過去最高の人出を記録。人数から見れば震災前の状況あるいはそれ以上に戻ってきたが、一過性ではなく通年にわたりさらに努力をしてい

きたい。

- ◇プラスチック製品…大手取引先の下請企業を中心に業況は厳しくなる一方である。
- ◇鍍金…4、5月とも前年より低調。前月比でも連休の絡みで仕事量、売上とも減少。建設資材関係は比較的順調に受注があるが、自動車部品は思ったほど量が出ていない。めっき加工単価、原材料とも前年同程度。電気代は20%近くコストアップ。ガソリン、灯油など石油製品等も高値水準である。
- ◇電化機器…当月における生産高は、対前年同月比で8百万円(0.89%)となる871百万円。前月比では△44百万円(△4.79%)の状況であった。家電関連は堅調なのに対し、自動車関連全体では前年比・前月比ともマイナスで、各下請事業所における受注にバラツキが見られる。
- ◇自動車部品…前月同様売上高は横這いであるが、低迷状態のまま増加の兆しが無い。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中2社が売上増で、全体では前年同月比99%。生産量は前年同期とあまり変わらないが、納品先のメーカー側は海外生産を中心に順調な生産・販売動向となっている。相変わらず国内での生産量の見通しははっきりせず、現段階では年度後半のいい話は聞こえてこない状況である。

## 非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は前年比約15%の減少。新年度に入り、4月以降建設工事が急減し出荷減少となっている。
- ◇水産卸…精算所取扱は前年同月比2.84%の減。大卸1社が自己破産して1年が経過し、荷受2社での買受人、スーパー対応は安定してきているが、売場施設の低温化が求められている。
- ◇食品卸売…野菜は前年に比べ入荷増、単価安。主力果実のメロン・スイカの入荷は前年並みで、単価は前年並み。若干、風評被害が続いており末端小売業の販売に影響がある。組合の総取扱高は前年同月比98.3%。
- ◇県南地区卸売…企業によっては格差があるものの、総じて不変である。
- ◇県北地区共同店舗…昨年と打って変わって、ゴールデンウィーク期間中は天候にも恵まれ、外でのイベントは賑わった。苦心惨憺して集客しても財布の紐は緩まず、売上は低空飛行のまま。

- ◇**県央地区共同店舗**…ゴールデンウィーク以後、全体的に厳しい状況。特に生鮮食品の売上が伸びてこない。
- ◇**県南地区共同店舗**…ゴールデンウィーク及び下旬の売上高が大きく減少し、対前年同月比は4月期を下回った。業種全体が不調で、近郊にオープンした超大型店の影響が否めない。
- ◇**家電**…洗濯機、エアコン等の需要があり、前月より若干の売上増加となった。家電品の伸び悩みから、太陽光発電の推進を模索している店舗が目立ち始めた。
- ◇**中古自動車**…オークションは、出品台数、成約台数ともに対前年比で20%近く伸びており、オークション手数料収入もそれに伴い好転している。しかし組合員事業所の小売は依然厳しい状況である。
- ◇**石油**…ガソリンの販売価格は昨年同月比で1円値上がりしているが、販売数量も減少しているため売上高も減少している。経営環境は元売子会社や大手業者が、組合員の仕入値より安い価格で販売競争を行っているため、非常に厳しい状況となっている。
- ◇**ホテル旅館**…昨年同月との比較では全体的に上向きであるが、震災前まで戻っていない施設が多く、収益や資金繰りは厳しい。ゴールデンウィークも前半と後半に分かれ宿泊客数が伸び悩んだ。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は対前年同月比普通車97.5%、軽自動車は100.3%で微増であった。
- ◇**総合建設**…業況は非常に悪い。先月に引き続き従業員、重機及びリース機材も過剰状態の組合員が多い。収益が見込める工事入札は経費を差し引いた価格でのダンピングが多くなっている。
- ◇**管工事**…前月に続き、工事件数の減少に伴い、材料販売数も激減した。

- ◇**交通安全施設**…経済対策の補正予算分の公共工事が発注され始めた。
- ◇**電気工事**…後継者不足のため、脱退者が数件発生している。
- ◇**県北地区運輸**…稼働工数が少なく、当組合全体の受注額についても昨年度と比較し減少している。また、燃料費は多少値下がり傾向にはあるが、高止まりの傾向となっており、収益に直接繋がる動向なので、注意を払っていきたい。
- ◇**県央地区運輸**…前半は母の日用ギフトの配達や市場関係(スイカ・メロン)は忙しかったが、後半は仕事が少なかった。工場などの生産関係も稼働日数が少ないため、動きが悪い。飲料水は好調。軽油は高止まりが続いている(運賃の低迷も続き利益は薄い)。

H25.5月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況		
		前年同月比		前年同月比		
食料品業		▲	33.3		▲	33.3
その他製造業		▲	10.0		▲	30.0
卸売業		▲	50.0			0.0
小売業(商店街を含む)		▲	54.5		▲	27.3
サービス業			0.0			0.0
建設業		▲	60.0		▲	40.0
運輸業		▲	100.0		▲	100.0
全体		▲	34.0		▲	30.0

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I.値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I.値

## アクモス 株式会社

<http://www.acmos.co.jp>

— 人と技術と感動を —

プロフェッショナルサービスプロバイダーのアクモスグループです

〈茨城本社〉 〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7  
 TEL: 029-270-5555 FAX: 029-270-5531

 認証コード 6888	本社 東京都千代田区神田小川町三丁目26-8 03-5217-3121	つくば事業所 茨城県土浦市卸町1-1-1 関鉄つくばビル2F 029-834-3391
-------------------	---	---